

第42回(通算2658回) 例会記録 2015年5月27日(水)

- 司会進行/ 渡久地 明
- ロータリーソング/ えんどうの花・四つのテスト
- ゲスト/ 慶田城 用武氏
- メイクアップ/ 羽地宏幸・大濱達也・池城貞光
前木繁孝(計3名)

出席報告

会 員 総 数	37名
出席義務会員	36名
出 席 数	22名
欠 席 数	14名
出 席 率	61.11%
通算出席率(5月)	65.74%

本日のニコニコ

	収入	累計
ニコニコBox	¥0	¥140,000
コインBox	¥5,014	¥100,623
合 計	¥5,014	¥240,623

会長あいさつ: 上原 秀政



今日は最近読んだ本で面白かったなというをご紹介します。テレビ東京の「ガイアの夜明け」という番組のプロデューサー、小林史憲さんが書いた「テレビに映る中国の97%は嘘である」という本です。中国で取材をしたり、特派員で行ったりした経験で書いていますが、反日デモの裏側を記者の目から見たレポートがありました。この方はイトーヨーカドーが襲撃された時、リポーターとして行ったらしいのですが、隣の知り合いの記者にそろそろお昼時だから、美味しいとんかつ屋があるから行きましょうよ、と言った時に周りに日本人だとばれて、暴行を受けたらしいです。当局の警察に拘束してくれと自分か

ら言ったらしいです。中国での取材の間に21回も拘束された経験を持っているらしく、記者でなければ書けないような事が書かれています。タイトル通り庶民の事情だとか裏から見ています。毒餃子事件というのがありました。犯人が発表された時にも取材に行って、その時の状況、年とった両親が出てきて、丁寧に対応してくれた事とか、農村の風景とか、現地で取材した人でないと分からないような事が書かれています。最近のテレビを見ますと南沙諸島の問題、抗日デモが起こった原因には前東京都知事の石原慎太郎の東京都で尖閣諸島を購入するという所、それを危惧して時の総理大臣、民主党の野田総理が石原都知事の好き勝手にはさせないという感じで、国有化という所に移ったと、この国有化を中国が誤解したというか、喧嘩を売られたという状況になって、それで抗日デモの走って行ったんだと、その裏には干政デモとって、中国の政府の指導が多少あったのではないかと書かれています。興味があれば、読んで頂ければと思います。

ゲスト卓話: 慶田城 用武氏

尖閣列島戦時遭難者遺族会 会長

～「尖閣戦時遭難事件について」～



尖閣列島戦時遭難事件の概略ですが、石垣から台湾への最後の疎開船という事で、1945年6月30日の午後9時頃石垣港から西表経由で出航致しました。船は第一千早丸、第五千早丸、第三千早丸の3隻、それに八重山、宮古を含めて180名、台湾の方と朝鮮の方が34名、210名乗船して燃料補給のため西表に寄りました。7月2日夕方出航間際で、第三千早丸がエンジントラブルの為、航海不能になり、2隻の船に分乗して出航したわけです。従来の台湾疎開の航路は石垣港一与那国一基隆、しかも夜の航海でしたが、どうしてか最後の航海だけは尖閣寄りで基隆を目指しました。しかも夜ではなく、昼航海しています。3日の日は海も穏やかで船に乗っている10歳前後の子供や若い人たちはデッキで歌を歌ったりして、4・5時間すれば基隆に着くという嬉しさで、午後2時

頃皆デッキに出て来ていたそうです。その時にアメリカのB-24が船の上を飛んで行きましたが、皆はそれを友軍機だと思って隠れることもなくデッキにいたそうです。その飛行機がUターンして機銃掃射をしたと、これを何回も繰り返したわけです。本来は民間船とか子供女性が乗っている船は銃撃しないという協定がありますが、後で調査した人の話では、この船に10名ほどの日本兵がいて、船の船尾には機銃器も備えてあったんです。そして機銃器で応戦をしたと、しかし機関銃と飛行機の機銃掃射では太刀打ちできるものでもなくて、木造船ですから船倉にいても板を貫通して、やられるし、デッキでは隠れるところもないという事で、船上ではなすすべもなく銃撃されました。

そして第五千早丸は炎上して沈没しました。第一千早丸は故障して漂流して、飛行機が去った後に海で泳いでいる人、浮いている人を第一千早丸に引き上げて、船員たちが船を一生懸命修理するんですけど、なかなか直すことが出来なくて一昼夜漂流したころに、ようやくエンジンが直りました。その時にどこに行こうかという事になりました。台湾の基隆に行こう、石垣に行こうという意見があり、まずは水が欲しいと、そして船に乗っている死体の処理をしないといけないという事を皆で話している時に、乗船人の中に魚釣島に詳しい方がいて、その人の案内で魚釣島に上陸しました。最初は水を補給して死体を埋葬したら2・3日で帰る予定で上陸しましたが、死体の埋葬は穴を掘る道具もないし、島は岩盤で素手では掘れる状況ではないし、婦女子、老人だけで体力もないという事で、ただ岩場に並べてクワの葉っぱを被せて埋葬しました。そしていざ帰ろうとした時に第一千早丸のエンジンを調整しようという事で、少し岩壁から離れた所でエンジンがストップしてしまって、そのまま漂流してしまったんです。なかなか直せなくて、どんどん流されてしまうと、船員たちはこれ以上流されたら危険だということで、船に積んでいる伝馬船(小船)に乗って、第一千早丸を放棄して魚釣島に戻ってきたわけです。

連絡手段を失って魚釣島で45日間滞在することになったわけです。最初の1週間くらいは皆が持っている食料を共有して、共同生活をしていましたが、1週間で食料も尽きて、その後は銘々で

自活しなさいという事になりました。食べ物はミズナ、にが菜、ふーちば、アダン、クバの芯、それくらいで、動く物、ヤモリやトカゲなどは最初の頃で捕りつくして、100名余りの人ですから食料がなくなりました。どうしようかと皆で協議して、救助隊を出そうという事で、幸いに乗員の中に船大工が1人おりまして、その方が道具を持っていましたので、全員で流木を拾ってきたり、難破船の板を取ってきて、10名乗りくらいの小舟を作りました。石垣への決死隊を編成したわけです。日本兵1人、若い船員、総勢8名、その決死隊が8月12日の午後5時頃、魚釣島を出て、14日の午後7時に川平に着いたわけです。幸い川平には兵隊の屯所があったそうです。そこから台湾へ状況を報告して、8月16日に飛行機から乾パンと飴玉が投下されました。1人乾パンが8枚あったそうです。これで命をつないだという事です。生存者の人達の話だと、1週間遅れたら皆餓死したという事でした。

そして救助船が18日に行きまして、石垣港に着いたのが8月19日です。その時に持っていた手荷物は全部島に置いておけという支持が日本兵から出まして、皆着の身着のまま手提げ1つで帰ったという事です。これが尖閣遭難の概略です。

その後9月頃になって生還者の人達と亡くなった方の遺族が千歳館という映画館に集まりまして、そこで協議をしております。私たちが聞き取り調査してはっきりしたのは、魚釣島で起こった出来事は一切口外しないように、兄弟親にも話さないようにというような打合せをやったようです。もう1つは魚釣島に自分の財産を置いてきていますから、これを取りに行こうという事で、1か月後に集まって、10月頃に魚釣島に行って置いた荷物とか財産を取りに行きましたが、既に何もなかったという事でした。なぜ事件の事を口外しないように言ったのか、あの島での生活の内容は80歳、90歳、亡くなるまで一切言わないですね。どういう事があったかという事は、宮良当智さんの書記では「人間生活から動物生活に成り下がった」と、そして食料はどうしたか、一切言わないです。この方たちは遺族補償等も受けていないわけです。というのは、遺族補償を受けるときに色々な調査、聞き取りがありますから、そこまで話してまで何ももらわないという事

で、皆もらってないです。戦後、引揚者手当、政府からの手当てがありました。これを申請したら皆さん方はまだ基隆港に着いていないと、引揚者というのは着いた人が帰って来るのが引き上げであって、それには該当しないという事で、それも受けられなかったという事です。

しかし終戦50年1995年に生存した方たちが集まって、千歳館で決めたが、そのままにしておくわけにはいかないじゃないかという事で、その年に遺族会を結成致しました。そして遺族会の結成でやるのは慰霊碑の建立、名簿の作成、機関誌、戦時補償の問題もありましたが、皆今さらという事で、まずは名簿の整理からしましょうという事で、慰霊碑の建立に取り組みました。そして慰霊碑が2002年に建立されました。1995年から建立される間、仮供養塔を作って、桃林寺の境内に建てて仮供養をしておりました。2002年からは今の舟蔵の里で、ここにおられる小林住職の指導で慰霊祭を執り行っております。私たち遺族団体は平和団体でありまして、亡くなった御霊の供養と世界平和、それから遺族の人達との交流をして助け合いをしましょうということで、結成したわけです。

しかしその後、復帰前までは日本とか台湾、香港の民間の右翼の方たちが、魚釣島は自分たちの国の領土であるという事で、魚釣島に上陸して証明しようと魚釣島への上陸合戦をやっていました。これを海上保安庁が取り締まっていたが、だんだん民間のレベルから国のレベルの発展して行きました。そのきっかけは2012年4月17日に石原慎太郎都知事が尖閣諸島を購入するという意向を示したことで、尖閣列島が注目されたわけです。そして石原都知事は領土を守る、日本の主権を守るという事で、寄付金を募集してたくさん集まったという事です。その件で新聞社から私にインタビューがありまして、魚釣島の領土は分かるが、沖縄の主権はどうなっているのかと、現実に沖縄の主権は日米地位協定によって、侵されているんじゃないかと申し上げたら、朝日新聞に大きく掲載されました。

石垣市の将来像をどうするかと考えた時に、魚釣島近海は避けて通る事はできないと思います。石垣市の行政区でありますので、石垣市は国境の地点にあって、国境は経済や文化が通過する地点で、石垣市は有利な状況下にあります。今後そう

いう状況を大いに利用して、石垣市の将来像を考えるべきではないかと思えます。

私は遺族会の総会であいさつしたのは、石垣市には唐人墓などあって、観光の名所になっているし、あるいは畜産やその他の産業が大変盛んですので、国内だけでなく、国外からバイヤーを福建や北京や香港などから呼んで交易をしたらどうかという事を話しております。やはり国境の島だから守るだけでなく、島を開いて文化経済を通して外国と交易をすることで信頼関係を作って、この島を豊かにするという事が今求められているんじゃないかという事です。

最後に今後は沖縄がアメリカと中国の平和の懸け橋になるように沖縄県知事が県民が主体になって取り組んで行けば明るい展望が生まれるんじゃないかと思っています。とりとめのない話になりましたが、皆様ご清聴有難うございます。

例会風景



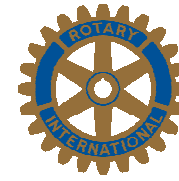
本日のランチ



用武さん、貴重なお話をありがとうございました。

2015年(平成27年)6月3日(水) 第43回 例会(通算2659)

国際ロータリー第2580地区



THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2556



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを
Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15 年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)

写真:八重山日報社提供



●第14回台琉友好親善国際ヨットレース

過去最高21艇のエントリー。日本、アメリカ、マレーシア、香港、台湾。クルーも遠くはウクライナ、アルゼンチンなど日本を入れて計15カ国の人。

例会日 水曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4
 TEL/FAX 0980-83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

会 長 : 上 原 秀 政
 副 会 長 : 新 賢 次
 幹 事 : 白 道 直 行
 副 幹 事 : 宮 良 薫
 S A A ・ 出 席 : 渡 久 地 明
 情 報 ・ 会 報 : 玉 城 守 雄